

第2次加西市観光推進基本計画

— 加西観光まちづくり劇場 フラワー&ピースフル —



2018年(平成30年)3月

加西市

目次



兵庫県立フラワーセンター



鶉野飛行場跡

1 観光推進基本計画とは	1
(1) 「第2次加西市観光推進基本計画」とは.....	1
(2) 推進体制.....	1
(3) 基本的な考え方.....	1
2 本市の観光振興の将来像	2
(1) 本市の観光がめざす将来像.....	2
(2) 将来像実現のための戦略.....	2
3 戦略ごとの取組内容	3
戦略1 加西らしい観光まちづくりの推進.....	3
戦略2 観光まちづくり人材の育成と体制の充実.....	4
戦略3 観光まちづくりで「潤う」ための仕掛けづくり.....	5
戦略4 観光まちづくりを支えるインフラの整備.....	6
4 重点プロジェクト	7
1 鶉野飛行場跡地の活用推進プロジェクト.....	7
2 北条鉄道の活用推進プロジェクト.....	8
3 フラワーリズム推進プロジェクト.....	8
4 地域が潤う仕掛けづくりプロジェクト.....	9
5 加西を楽しむ体験型プログラム充実プロジェクト.....	9

1 観光推進基本計画とは

(1)「第2次加西市観光推進基本計画」とは

「加西市観光推進基本計画」の2017年度（平成29年度）での満了、国の動向、社会情勢など、市内外を取り巻く環境の変化を踏まえ、新たに2018年度～2022年度（平成30年度～平成34年度）を計画期間とした「第2次加西市観光推進基本計画」を策定します。

計画の策定にあたっては、「第5次加西市総合計画」を上位計画として、市観光関連計画との整合性を図りながら、実施するものです。

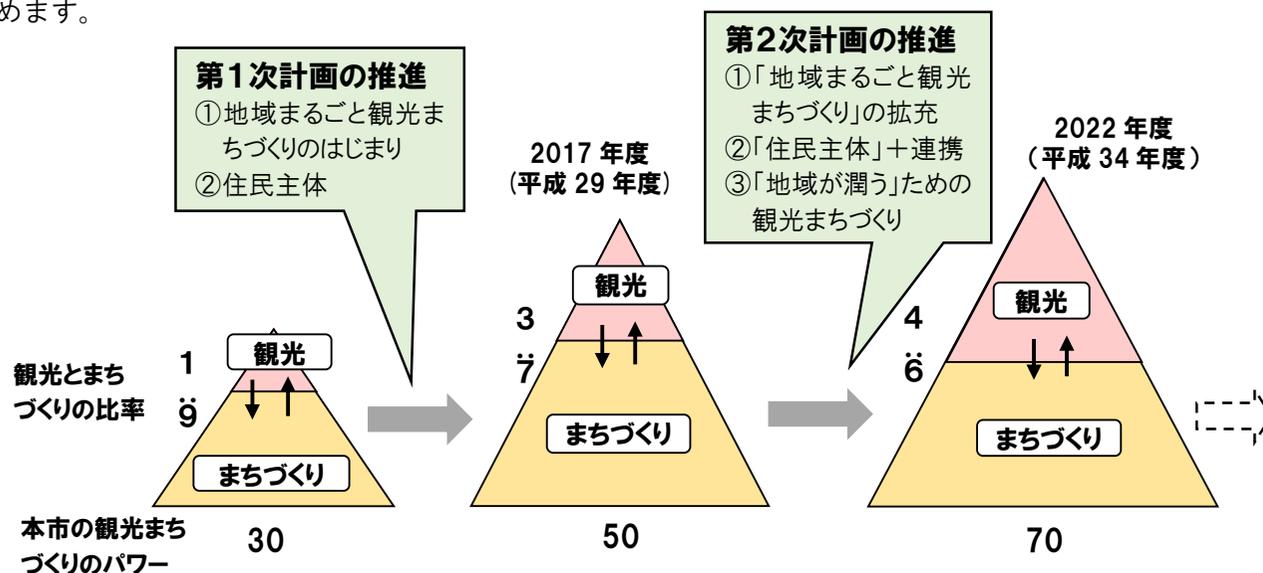
(3)基本的な考え方

第2次計画では、第1次計画で推進してきた「住民主体」による「地域まるごと観光まちづくり」を引き継ぎながら、さらに拡充させます。特に、住民主体に加えて、個々の団体の連携を図り、より多くの市民が関わるとともに、市内外への発信や来訪者誘致の視点、儲ける視点など「地域が潤う」ための観光まちづくりを進めます。

(2)推進体制

本計画の推進にあたっては、戦略ごとに設定した「成果指標」をもとに、現状値や目標値の達成状況を把握・評価します。また、「PDCAサイクル（計画・実行・評価・改善）」に基づき、継続的に計画の進行管理を行います。

また、「(仮称)第2次加西市観光推進基本計画推進委員会」を設置し、計画の進捗状況の検証や必要な施策の検討を行うとともに、加西市観光まちづくり協会観光研究会等との連携により、観光施策を進めます。



2 本市の観光振興の将来像

(1)本市の観光がめざす将来像

市全体を「劇場」に見立て、市民や市内の事業者等が「役者」となり、観光客をおもてなしするとともに、さらに観光客が「役者」（市民、市内事業者）と会話し、交流し、体験することで観光客自身も「役者」となり、本市を楽しんでもらい、すべての人が「主役」になるような観光まちづくりをめざします。

特に市内には、戦争遺産であり、平和継承のシンボルともなる「鶉野飛行場跡」、市内最大の集客を誇り、平和や美しさの象徴の1つとも言える「花」のテーマパーク「兵庫県立フラワーセンター」があることから、「平和(ピース)」と「花(フラワー)」を本市観光のキーワードとし、「加西観光まちづくり劇場ーフラワー&ピースフルー」を将来像のキャッチフレーズに採用しました。

また、これを踏まえ、本計画全体の成果指標を観光入込客数 100 万人に設定します。

■成果指標

指標	現状値 (2016年度) (平成28年度)	目標値 (2022年度) (平成34年度)
加西市観光入込客数	87.1万人	100万人

(2)将来像実現のための戦略

本市の将来像実現のために、以下の4つの戦略を設定します。

- 戦略1 加西らしい観光まちづくりの推進
- 戦略2 観光まちづくり人材の育成と体制の充実
- 戦略3 観光まちづくりで「潤う」ための仕掛けづくり
- 戦略4 観光まちづくりを支えるインフラの整備

加西観光まちづくり劇場 フラワー&ピースフル



3 戦略ごとの取組内容

戦略1:加西らしい観光まちづくりの推進

取組	取組内容
①「かさいまちあそび」の強化	「かさいまちあそび」のプログラムの充実や秋季以外での開催を検討し、さらなる集客をめざします。
②「北条の宿」を活用したにぎわいづくり	播磨農業高校と連携した農家レストランの開設など、「北条の宿」を活用した観光ルートの充実を図ります。
③「ふるさと創造会議」と連携した観光まちづくりの推進	農産物を活用した加工品づくりなど、各地区の取組支援を行い、より取組が広がることをめざします。また、「ふるさと創造会議」どうしの連携強化を行い、新たな取組の実現を進めます。
④鶉野飛行場跡地周辺の拠点づくり	拠点施設（ミュージアム、地域活性化施設）の整備など、鶉野飛行場跡地周辺の整備を進めます。拠点施設を活用したイベント等を実施し、にぎわいづくりを演出します。
⑤北条鉄道の活用	自転車の持ち込みの試験的な実施、PR 強化など、サイクルトレインを推進します。また、イベント列車のさらなるPR など、北条鉄道の活用推進を図ります。
⑥フラワーツーリズムの検討・推進	「花」をテーマにしたアートイベントや花マルシェの開催など、「花」をキーワードに市外から来訪してもらう機会を増やします。
⑦サイクルツーリズムの推進	播磨地域と連携したサイクリングロードのPR 強化、市内のレンタサイクルの充実を図ります。
⑧インバウンド観光の検討	外国人を対象にしたモニターツアーの実施など、インバウンド観光の推進を検討します。
⑨気球を活用した加西市ならではの風景づくり	気球イベントの開催など、気球を楽しんでもらう環境づくりを進めます。
⑩産業観光の検討	市内のものづくり企業と連携し、一般見学、団体観光客等の受入ができる工場見学等の産業観光の推進を検討します。
⑪新たな観光資源の発掘	市内にある青野原俘虜収容所、隠れキリシタン等の新たな観光資源の発掘を進めます。

■成果指標

指標	現状値 (2016 年度) (平成 28 年度)	目標値 (2022 年度) (平成 34 年度)
かさいまちあそび年間参加人数	836人	1,000人
鶉野飛行場跡地観光誘客年間数	8,000人	16,000人



北条鉄道サイクルトレイン



北条町旧市街地（北条の宿）

戦略2：観光まちづくり人材の育成と体制の充実

取組	取組内容
①まち活ゆめ広場での若者人材の育成	「まち活ゆめ広場」を学習の場として活用し、次世代の地域振興を担う人材を育成します。
②地域おこし協力隊との連携	特産品開発、イベントの実施、若者との連携の場の拡大など、地域おこし協力隊との連携をさらに強化します。
③観光まちづくり関連の起業支援	市内の若者の観光まちづくりへの参画をさらに増やすために、起業に向けた相談、活動経費の助成など、起業支援を行います。
④観光まちづくり後継者のマッチング支援	市内事業者、観光まちづくりに取り組む団体等の後継者不足解消のため、事業を継ぎたい若者と後継者がいない事業者、団体等のマッチング支援を行います。
⑤観光ガイドの育成	市内の観光地を訪れた観光客の満足度を高めるために、観光ガイドの育成強化を図ります。
⑥市民による語り手ボランティア登録制度の検討	市民によるおもてなしの向上のために、観光客への声かけ、地域の紹介等を行う語り手の募集・登録制度の検討を行います。
⑦加西市観光まちづくり協会の体制強化	観光振興を支援する組織体制の充実、観光案内所機能の拡大など、加西市観光まちづくり協会の強化を図ります。

■成果指標

指標	現状値 (2016年度) (平成28年度)	目標値 (2022年度) (平成34年度)
かさいまちあそび主催者数	43団体	50団体
観光ガイド回数	134回	150回



かさいまちあそび

戦略3: 観光まちづくりで「潤う」ための仕掛けづくり

取組	取組内容
①加西喝採みやげの充実	新たな加西喝採みやげ品の開発支援、販売店舗の拡大など、魅力ある土産品の充実を図ります。
②加西産農畜産物等を活用した名物づくり	加西産農畜産物（加西とまと、ぶどう、酒米、加西ねひめビーフ等）、地域資源（五百羅漢、ねっぴ〜等）を活用した加西名物を開発します。
③直売所の充実	市内の農産物直売所の商品の充実、農産物 PR ブースの設置など、加西産農産物の充実を進めます。
④市内飲食店、加西 SA、旅行事業者等との連携	市内飲食店での加西産農畜産物を使った料理の提供、スタンプラリーの実施、加西 SA 等での物産展の開催、PR ブースの設置強化など、市内の民間事業者との連携強化を図ります。

■成果指標

指標	現状値 (2016年度) (平成28年度)	目標値 (2022年度) (平成34年度)
加西喝採ブランド品数	30品目	35品目
加西産農産物提供店舗数	12店	20店
PRブース年間開設数	12	17



根日女の恋詩（加西イチゴ）



加西ゴールデンベリーA

戦略4: 観光まちづくりを支えるインフラの整備

取組	取組内容
①公共交通の利便性向上	北条町駅、法華口駅から市内観光地を結ぶ二次交通の向上など、地域の足としての加西市内公共交通機関の利便性向上を図ります。
②観光プロモーションの強化	ふるさと観光大使「ねっぴ〜」の活用、本市広報紙、観光パンフレットのデザイン統一など、効果的な観光情報の発信を行います。
③宿泊施設の活用	いこいの村はりまなどの市内宿泊施設への誘客、PR など、県外からの宿泊者の増加につなげます。
④サイン整備	観光客の利便性向上のために、案内板の設置、パンフレット等への外国語対応等のサイン整備を進めます。

■成果指標

指標	現状値 (2016年度) (平成28年度)	目標値 (2022年度) (平成34年度)
フェイスブック「いいね！」件数	1,434件	2,000件
北条鉄道の年間利用者数	340千人	380千人
北条鉄道の乗降客数(定期外)	149千人	200千人
宿泊者数	3.5万人	5万人



ふるさと観光大使
「ねっぴ〜」



北条鉄道

4 重点プロジェクト

戦略1～4の取組の中から、特にこの5年間(2018年度～2022年度(平成30年度～平成34年度))で重点的に取り組むものを以下の5つの「重点プロジェクト」として設定します。

1 鶺野飛行場跡地の活用推進プロジェクト

5 加西を楽しむ体験型プログラム充実プロジェクト

2 北条鉄道の活用推進プロジェクト

4 地域が潤う仕掛けづくりプロジェクト

3 フラワーツーリズム推進プロジェクト

1 鶺野飛行場跡地の活用推進プロジェクト

■趣旨

鶺野飛行場跡地周辺は、戦後70年以上経った現在でも防空壕や爆弾庫等が残っています。戦争の恐ろしさ、平和の大切さを伝える場所である鶺野飛行場跡地を集客資源として活用し、幅広い世代の方に訪れて、利用してもらうための取組を推進します。

■内容

(1)市民、関係団体等が集まったオープン会議の開催

- ・鶺野飛行場跡地の今後のあり方、活用方策を検討する会議を開催します。参加者は、市民(地元を含む。)を公募する予定です。

(2)関係自治体等広域での観光連携

- ・戦争をテーマに繋がる自治体と連携し、資料の相互展示や周遊ツアーの実施、8月15日(終戦記念日)講演会の実施、映画鑑賞会の開催など、戦争の恐ろしさ、平和の大切さを伝える機会の拡大を推進します。



鶺野飛行場跡



鶺野平和祈念碑

2 北条鉄道の活用推進プロジェクト

■趣旨

本市を走る北条鉄道は、兵庫県小野市から加西市を結ぶ13.6kmのローカル鉄道です。本市において重要な観光資源である北条鉄道を活用し、本市への来訪客の増加をめざします。

■内容

(1) サイクルトレインの試験実施

- ・北条鉄道の利用客による持ち込み自転車でのサイクルトレインを試験的に実施します。

(2) ローカル鉄道サミット(仮称)の開催

- ・ローカル鉄道の推進に取り組む団体と連携し、北条鉄道を活かした観光を進めます。

(3) 車両を交差させるための線路整備

- ・利用客の利便性の向上のため、車両の行き違い施設を整備し、運行可能本数を増やし、JR等との接続の改善をめざします。

(4) 鉄道事業者等公共交通機関との連携

- ・公共交通機関と包括的連携協定を結び、本市のプロモーション強化や利便性向上を図り、近隣自治体からの来訪者の増加をめざします。



北条鉄道



3 フラワーツーリズム推進プロジェクト

■趣旨

本市は気候条件がよく、花き、農産物等の栽培に適しており、市内でも鉢物、切花、花壇用苗物等の生産が盛んです。

市内最大の集客を誇る兵庫県立フラワーセンター等とともに、市全体を「日本一の花のまち」としてPRするとともに、花の愛好家だけでなく、普段花への関わりが少ない人の来訪増加をめざします。

■内容

(1) 花マルシェ(市場)の開催

- ・市内外の花屋を集め、生花、鉢植え、ドライフラワー等を販売する「花マルシェ」を年1回程度開催します。

(2) かせい花いっぱいプロジェクト

- ・北条鉄道や駅、北条旧市街地の通りや横尾歴史街道などに市民又は兵庫県立フラワーセンターが育てた花を置くなど、市内を訪れた観光客が「花」を楽しむ機会をつくります。

(3) 兵庫県立フラワーセンターへの新たな誘客プロジェクト

- ・普段花への関わりが少ない人にも兵庫県立フラワーセンターへ来訪してもらえるよう様々な取組を実施します。



兵庫県立フラワーセンター

4 地域が潤う仕掛けづくりプロジェクト

■趣旨

「加西と言えば〇〇!」と、来訪者だけでなく、加西市民も誇りを持って紹介できる名物・お土産品の開発、食べる、購入できる場所の拡大、また、すでに販売されている加西喝采みやげのPR強化等を進めます。

■内容

(1)加西喝采ブランドの開発

- ・市内の各種機関と連携し、加西産農畜産物、加西の酒等を活用した特産品・土産品を開発します。

(2)加西喝采みやげのPR強化

- ・加西喝采みやげを集め、お中元、お歳暮等でセット販売を行います。

(3)市内飲食店でのスタンプラリーの実施

- ・市内の飲食店、スイーツ店での加西産農畜産物を使った料理、スイーツ等の開発を促進し、期間限定で提供、販売し、集客と売上増強に結びつけます。

(4)加西 SA 施設の有効活用

- ・年間約60万人が利用する加西SAでの加西名物の販売、PRブースを設置し、高速道路利用者、市民の利用強化をめざします。

(5)「トマトのまち加西」プロジェクト

- ・本市の特産である「加西とまと」をPRするために、市内でトマトを使った様々な取組を実施します。



左：加西とまと
右：加西香醸カレー

5 加西を楽しむ体験型プログラム充実プロジェクト

■趣旨

本市では、10月の1ヵ月間の中で「加西の魅力発見」と「加西を巡り楽しむ」をテーマに、事業者自身で企画した約40の体験プログラム「かさいまちあそび」を実施しています。

「かさいまちあそび」をきっかけに、主催者独自でのプログラム実施がでてきており、これらの動きをさらに広げて発展させていくことが重要です。

■内容

(1)プログラムの充実

- ・農産物の収穫体験、工場見学など、本市の地域資源を活かした新たなプログラム主催者の掘り起こしを行います。

(2)秋季以外での開催検討

- ・より多くの人に訪れてもらい、楽しんでもらうために、開催時期の拡大を検討します。

(3)運営事務局の体制強化

- ・かさいまちあそびを継続的に運営するために、行政とプログラム主催者を仲介する人材の確保など、組織体制の充実を行い、運営力の強化に取り組みます。



かさいまちあそび

【第2次加西市観光推進基本計画】

発行日：2018年（平成30年）3月

発行：加西市ふるさと創造部文化・観光・スポーツ課

〒675-2395 兵庫県加西市北条町横尾1000番地

TEL:0790-42-8715

E-mail: kanko@city.kasai.lg.jp